

保健と開発に関するイニシアティブ

～我が国の保健分野援助の方針～



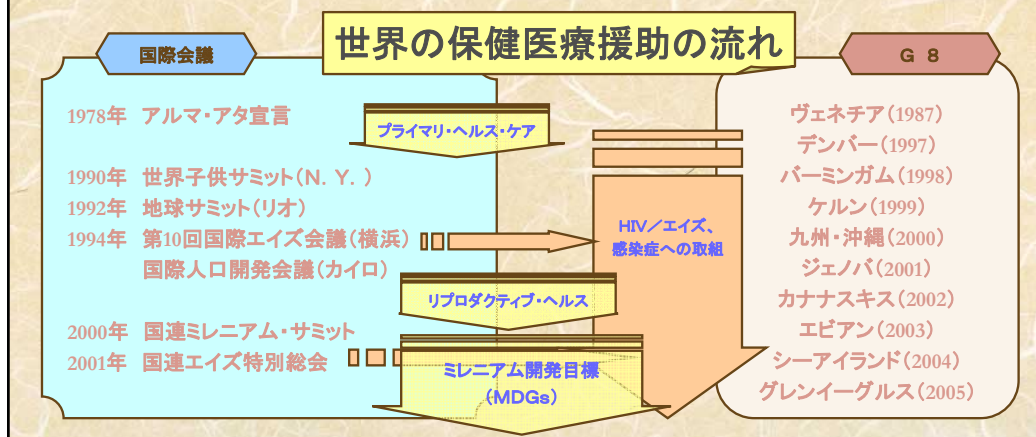
外務省国際協力局
多国間協力課

2007年3月

保健分野の国際的課題

<世界の現状>

- ◎ 予防可能な病気により毎年約1000万人の子供が死亡
- ◎ 毎年50万人以上の女性が妊娠中の合併症、出産で死亡
- ◎ 毎年300万人がエイズで、200万人が結核で、100万人がマラリアで死亡



保健関連MDGs

- 目標4 : 幼児死亡率の削減

ターゲット5: 2015年までに5歳未満児の死亡率を3分の2減少させる

- 目標5 : 妊産婦の健康の改善

ターゲット6: 2015年までに妊産婦の死亡率を4分の3減少させる

- 目標6 : HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

ターゲット7: HIV/エイズの蔓延を2015年までに阻止し、その後減少させる

ターゲット8: マラリア及びその他の主要な疾病の蔓延の防止

保健医療問題の重要性

- ◆ 住民一人ひとりの生命への脅威
- ◆ 経済社会活動への悪影響
 - ⇒ 貧困削減、持続的な開発への阻害要因
- ◆ 感染症 : 地球的規模の問題
 - ⇒ 人類共通の脅威

我が国のこれまでの保健分野における取組

「沖縄感染症対策イニシアティブ(IDI)」(2000年7月～2005年3月)

HIV/AIDS、結核、マラリア、ポリオ、寄生虫症とその他の感染症への対策のため5年間(2000-2005)で30億ドルを超える支援を発表。世界エイズ・結核・マラリア対策基金設立につながった。

IDI実績総額 : 約58億ドル
(内訳) 無償資金協力 : 約27億ドル
技術協力 : 約10億ドル
有償資金協力 : 約15億ドル
国際機関拠出 : 約 6億ドル

※(参考)世界エイズ・結核・マラリア対策基金(GFATM)はIDI実績に含まず。
これまでの世界基金拠出実績 : 4.76億ドル(2006年6月現在)

IDI以前のイニシアティブ

「人口・エイズに関する地球規模問題イニシアティブ(GII)」(1994～2000年)

「国際寄生虫対策(橋本イニシアティブ)」(1997年～)

保健と開発に関するイニシアティブ: **基本方針**

- ◆ 人間の安全保障の視点の重視
- ◆ 横断的取組
- ◆ 国際社会における連携と協調
- ◆ 開発途上国における多様な事情に応じた援助戦略の形成
- ◆ 援助実施現場における研究機能の強化と現場固有の事情への配慮

保健分野の国際的パートナーシップ(GHPs: Global Health Partnerships)

世界基金、Three Ones、ロールバック・マラリア、STOP TB etc.

保健と開発に関するイニシアティブ: **具体的取組**

◆ 保健医療体制の基盤整備に関する支援

- 保健医療システムの強化
- 保健医療従事者の育成
- 保健医療施設の整備と機能強化

全ての保健MDGsに
貢献

◆ 保健医療分野の支援を補完する関連分野の支援 及び分野横断的取組

- ジェンダー平等のための支援
- 教育分野における取組
- 水と衛生分野における取組
- 社会経済基盤（インフラ）整備支援

我が国の経験に
基づいた公衆衛生
環境の改善への
取組

保健と開発に関するイニシアティブ: **具体的取組**

◆ 保健関連目標達成への取組

1) 目標 4（幼児死亡率の削減）

- はしか予防接種
- 安全な水の確保、経口補水塩 (ORS)の普及による下痢症対策
- 殺虫剤浸漬蚊帳の配布と抗マラリア薬の供与

2) 目標 5（妊産婦の健康の改善）

- 啓発・住民教育
- 避妊薬具の配布
- 医療従事者育成と医療設備の整備
- 妊産婦検診普及

保健と開発に関するイニシアティブ: **具体的取組**

3) 目標 6 (HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止)

ターゲット 7 : HIV/AIDS

- 予防啓発
- 人材育成
- コンドーム等の供与
- 自発的検査とカウンセリング (VCT) と抗ウイルス薬治療 (ART) の普及
- エイズ遺児へのケア
- 安全な血液供給

ターゲット 8 : マラリア、結核、ポリオ、その他の疾病

- 予防・啓発
- 人材育成
- 殺虫剤浸漬蚊帳と抗マラリア剤の供与
- DOTS戦略拡大支援
- ポリオワクチン供与
- 疾病監視システム構築とネットワーク作り

保健と開発に関するイニシアティブ: **具体的取組**

◆我が国の実施体制の強化

- 国内の専門家等の人材育成
- 研究活動のネットワーク化
- 関連省庁、NGO、大学、研究機関、民間企業等との連携強化
- モニタリング・評価の充実